2026 年度日本分子腫瘍マーカー研究会　評議員会　議事録

2026 年 9 月 23 日（水）国立京都国際会館 5 階　Room555

1. 2025 年度（第 45 回）　評議員会　決定事項の確認

1）評議員退任の件

石川 秀樹 先生　（京都府立医科大学）

安田　宏 先生　（聖マリアンナ医科大学）　以上 2 名の先生を承認した。

2）新理事推薦の件

海野 倫明 先生、沖　英次 先生、後藤 典子 先生

以上 3 名の先生を承認した。

3）新評議員推薦の件

山下 太郎 先生　（金沢大学）

神田 光郎 先生　（名古屋大学）

馬場 祥史 先生　（東京大学）　以上 3 名の先生を承認した。

4）第 47 回（次期）研究会会長推薦の件

八代 正和 先生　（大阪公立大学）を第 47 回研究会会長として推薦することを承認した。

2. 報告事項

1）庶務報告（2026 年 9 月 14 日現在）

【会員数】	理事	13 名
	（監事	2 名）
	評議員	27 名
	名誉会員	28 名
	特別会員	19 名
	一般会員	112 名
	賛助会員	2 社
	バナー会員	1 社
	総会員数	202 名

2）理事会開催

2026 年 6 月 5 日に理事会を開催し、次々期当番会長、理事、監事、評議員および今井浩三賞について審議したことが報告された。

3）第 45 回日本分子腫瘍マーカー研究会　会計報告

第 45 回会長 中面哲也先生より会計報告が行われた。

なお、補助金の余剰金については研究会へ返納されたことが報告された。

4）第 46 回研究会奨励賞選考委員報告

以下の選考委員が報告された。

委員長	山下継史　先生
副委員長	植田幸嗣　先生
委員	神田光郎　先生
	馬場祥史　先生
	山下太郎　先生

5）2026 年度今井浩三賞選考結果報告

後藤　典子　先生が第 8 回（2026 年度）今井浩三賞を受賞されたことが報告された。

3．審議事項

1）2025 年度収支決算報告及び 2026 年度予算案の件

2025 年度収支決算および 2026 年度予算案について説明があり、承認された。

なお、研究会の持続可能性について、今後あらためて十分に検討する必要があるとの意見が出された。

2）評議員退任の件

三善英知先生、藤原俊義先生、北川雄光先生、吉田　優先生

以上 4 名の先生の退任が承認された。

3）監事退任の件

三善英知先生　の定年制による退任が承認された。

4）名誉会員推薦の件

島田英昭先生、三善英知先生、藤原俊義先生

以上 3 名の先生の推薦について、承認された。

5）特別会員推薦の件

北川雄光先生　の推薦について、承認された。

6）新理事推薦の件

神田光郎先生　馬場祥史先生　山下太郎先生　西塚　哲先生

以上 4 名の先生の推薦について、承認された。

7）新監事推薦の件

島田英昭先生　の推薦について、承認された。

8）新評議員推薦の件

黒川幸典　先生、松田　諭　先生、岩槻政晃　先生

以上 3 名の先生の推薦について、承認された。

9）理事長交代・新副理事長就任案について

任期満了に伴う島田英昭理事長および三森功士副理事長の退任について説明があり、後任として、理事長　三森功士先生　副理事長　山下継史先生　を選任することが承認された。

なお、三森功士新理事長より就任の挨拶があった。
（別紙「新理事長ご挨拶」参照）

10）第 48 回（次々期：2028 年）研究会会長推薦の件

佐伯浩司先生を第 48 回研究会会長として推薦することが承認された。

11）研究集会における研究発表者に関する会則改訂について

現行の会則第 4 条第 5 項について、以下のとおり改訂する案が提示された。

（現行）

＞第４条（会員）

５．研究集会における研究発表者（筆頭演者および共同演者）は正会員に限る。但し共同演者の中の大学院生等は除く。

（改正）

５．研究集会における研究発表者（筆頭演者）は、原則として正会員とする。但し、大学院生の発表者は例外とする。

上記会則改訂案について審議され、承認された。

4．第 47 回（次期）研究会の件

八代正和先生より、第 47 回日本分子腫瘍マーカー研究会を 2027 年 9 月 15 日（水）に、大阪にて開催予定であることが報告された。

5．その他

1）「分子腫瘍マーカー診療ガイドライン」について

- ゲノム関連情報が大幅に改訂・追加されていることから、第 3 版の改訂作業を早急に進める必要がある。
- 今後の内容については、臨床医に対する腫瘍マーカーの専門家としての意見書にとどまらず、薬剤師や臨床検査技師にも活用される内容とすることが望ましいとの意見があった。
- 関連企業にまとめ買いを依頼することができないかとの提案があった。
- 前理事長・名誉会員の島田英昭先生より、金原出版へ改訂について打診することとなった。
- 第 3 版の制作については、新理事長および新副理事長に一任することとなった。

2）新入会の促進について

会員拡大に関して、以下の意見があった。

- 女性評議員・女性理事の増員を図る。
- 薬剤師や臨床検査技師にも、次回研究会への参加について積極的に周知・PR する。

以上

別紙

新理事長ご挨拶

2026 年 9 月 23 日
日本分子腫瘍マーカー研究会　評議員会

三森　功士

当研究会の責任者・理事長を拝命しました九州大学病院別府病院の三森功士でございます。
大変光栄に存じておりますし、島田理事長はじめ理事の先生方に感謝を申しあげます、責任の重さを感じ身の締まる思いです。

まずは、もっとも大切なことは、「会員数を増やして活性化していくこと」に重きをおきたいと思います。このための方向性としては 2 つあると思います。

ひとつは様々な事案を理事の先生方に風通しよく情報共有して決めていきたい、ということです。たとえば、島田先生の名著『バイオマーカーガイドライン』の改訂版が最初の議題になりましょうか。山下継史副理事長がリードされると思いますが、ガイドラインはランドマークとして是非とも残したいと思います。

もうひとつは、演者やテーマなど学会の運営に関して、（もちろん当番世話人が決めることではありますが）基本的には、現在御骨折りいただいている理事の先生方のご意見を尊重して決めていければと願っています。ゆくゆくは理事のみなさまが　愛する「おらが町」「おらが研究会」というかたちで、和気藹々と仲良く盛り上がっていければ幸です。

しかしながら、小生は浅学非才の身でございますので、どうか、先生方のお力をお貸し下さい。何卒　よろしくお願いします。

